

1 教育目標

「克己・精進」の校訓のもと、確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育み、社会に貢献できる人材を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 社会の変容に伴い、不登校経験者や全日制高校から転・編入する生徒が増加している。生徒の成育歴・学習歴等が多様化する中で、発達障害など特別な支援を必要とする生徒も見受けられる。
- ② 学力や学習意欲が十分に備わっておらず、自己肯定感が低いため、他者との円滑なコミュニケーションが不得意な生徒も見られる。習熟度別少人数授業を実施するとともに、安心して授業に参加できる環境づくりや特別活動の充実に努めている。
- ③ 基本的な生活習慣や規範意識が身につけていない生徒が見られる。学習環境を整備し、学習意欲を高めるとともに、挨拶の励行や食育、防犯・交通安全指導等を通して、道徳心や倫理観の向上に取り組んでいる。
- ④ 主体性・積極性の乏しさや、正規就労に対する意識の低さから、進路決定が遅れがちである。関係機関や地元企業との連携を深め、キャリア教育を充実し、望ましい勤労観・職業観の育成に取り組んでいる。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 「生きる力」を身につけるために、「高等学校における通級指導モデル事業」において、生徒への有効な指導法を教員全員で共有する。
- ② 基本的な生活習慣と、健全な社会生活を営む上で必要な規範意識を身につけることができるように支援する。
- ③ 他者との円滑なコミュニケーション能力を育成し、他を思いやる心を育むための指導法を工夫する。
- ④ 正規就労など望ましい勤労観・職業観を育成し、生徒一人ひとりが進路実現を目指すための支援を行う。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 教育目標の実現を目指し、全教職員が課題と対策を共有し、組織的な学校運営を継続して行う。
- ② 主体的、対話的で深い学びを実現するために、ICT等を積極的に活用するなど授業の工夫・改善に努める。
- ③ 生徒一人ひとりの豊かな心を育み、コミュニケーション能力の向上を図るための取り組みを学校全体で実施する。
- ④ 校務の適切な分担や業務改善の意識を高め、適正で効率的な校務の遂行に努める。

3 今年度の重点目標

- ① 生徒一人ひとりの適性と能力に応じたきめ細やかな指導を行い、学力の定着と応用力を高める授業実践に努める。
- ② 生徒指導の充実および通級指導によって、基本的な生活習慣を確立し規範意識を高めるとともに、道徳心や倫理観の向上を図る。
- ③ 学校行事や集団活動を通じて協調性やコミュニケーション能力を高め、社会人として必要な素養を身につける。
- ④ 一年次からの進路指導とキャリア教育を充実し、進学や就職への意識を高めて、卒業生全員の進路実現を目指す。
- ⑤ ワークライフバランスを意識した教職員の働き方改革を地域やPTAに周知し、効果的な教育活動や生徒指導の充実につなげる。